

コラム 道端に咲く独り言 「南石 “誰でも” ミーティング」

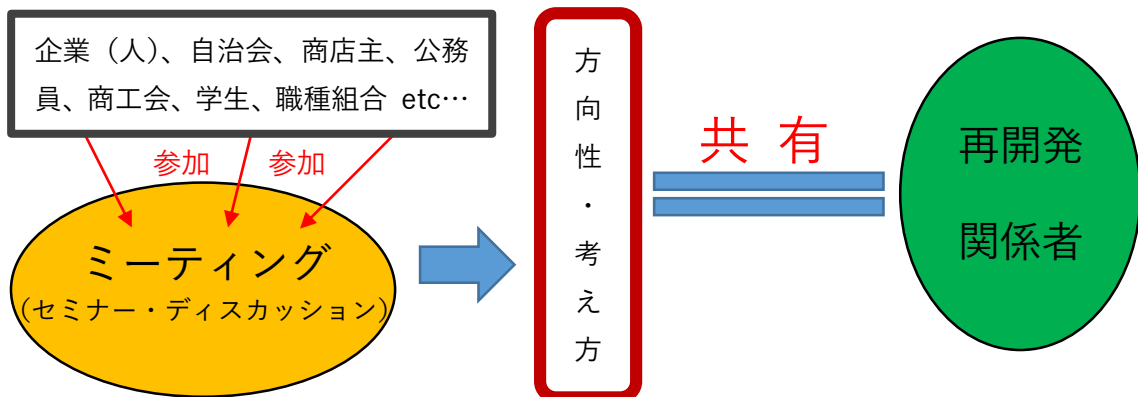
南石堂町商店街だけでなく、地方都市の中心市街地は、「建物の老朽化」や「後継者問題」を抱え、経済原理としての商業活動の継続が危ぶまれている状況にあります。そうした中で、各地では複合商業施設の再開発や再開発でのマンション建設など、街に新しい流れを創ろうという動きが見受けられます。

長野駅周辺でも、噂話レベルも含めるとこういった話がないわけではありません。長野市でも、新田町交差点付近から長野駅周辺までのエリアで「長野中央西地区市街地総合再生基本計画」を作成し、2021年の前半には計画の公表をすとみられています。

もちろんこうした再開発計画には、地権者、自治体、ディベロッパーなどが関わり進めていくわけですが、長野駅前の商店で構成される商店街組織が何の考えも持たず、建設的な意見を言わないことは、将来を見据えた中心市街地の商業活動に対して良いことではありません。そうは言っても私たちは、コロナ禍の中、商業活動の変化の流れに相変わらず対応しきれずにいます。こうした状況を少しでも変えていくために、中心市街地を軸に多種多様な人材が集い、ミーティングやセミナーを重ねていくことで、今後について確固たる意思に基づいた方向性を示す必要があるのではないのでしょうか。

そこで、南石堂町商店街では長野駅前の将来像を示すための話し合いの場として、「南石 “誰でも” ミーティング」の立ち上げを企画したいと思います。一般的にいう研究会であり、参加者について制限を設けないことにします。現在想定している内容は、年6回ほどの開催で、各回テーマを決めてセミナーを実施、その後テーマに関してミーティングを行うというものです。そして、年度末には一年間の成果として、その段階での将来像を報告書という形で発表したいと考えています。

こうした活動で知見とネットワークを広げていくことで、再開発関係者と建設的に対峙し、今後のまちづくりについて積極的な意見交換及びコミュニケーションが取っていければと面白いと思っています。



※図は編纂事務局にて作成

¹ <https://www.city.nagano.nagano.jp/uploaded/attachment/345530.pdf> を参照。